

IgG4 関連疾患 といわれたら

【監修】

金沢医科大学 血液免疫内科学 臨床教授

川野 充弘 先生

市立長浜病院 リウマチ・膠原病内科 特任部長

梅原 久範 先生



はじめに

IgG4（アイジージーフォー）関連疾患は、日本から発信された新しい疾患概念で、血液中のIgG4という抗体成分が増えることに加えて、このIgG4をつくる細胞（形質細胞といいます）が全身の臓器に広がることで、その臓器が腫れたり硬くなったりする病気です¹⁾。

適切な治療により症状のコントロールが期待できますが、治療を止めてしまうと約半分の患者さんでは再発してしまうという特徴もあるため、根気よく付き合っていくことが必要です¹⁾。

この冊子では、IgG4関連疾患という病気のこと、検査や治療のこと、日常生活の注意点などをご紹介します。是非、ご一読ください。

金沢医科大学 血液免疫内科学 臨床教授
川野 充弘

市立長浜病院 リウマチ・膠原病内科 特任部長
梅原 久範

1) 難病情報センターホームページ（2026年7月現在）から引用
難病情報センター、<https://www.nanbyou.or.jp/>

目次

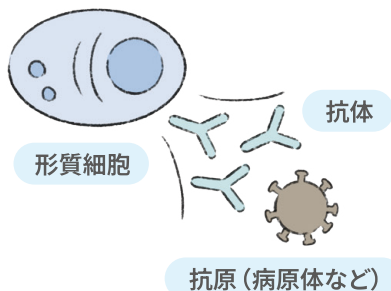
● IgG4関連疾患とはどのような病気ですか？	3
IgG4とは何ですか？	3
患者数はどのくらいですか？	4
どのような人に多くみられる病気ですか？	4
原因は何ですか？	4
どのような検査をして診断されるのですか？	5
どのように診断されますか？	6
● IgG4関連疾患に含まれる病気と主な症状	7
①首より上（涙腺、唾液腺、眼）にあらわれる病気	9
②消化器（膵臓、胆管）にあらわれる病気	9
③腎臓や泌尿器にあらわれる病気	10
④心臓や血管、お腹の膜にあらわれる病気	10
⑤呼吸器（肺や気管支）にあらわれる病気	11
⑥リンパ節にあらわれる病気	11
⑦神経やホルモン分泌に関係する病気	12
● IgG4関連疾患の治療	13
● IgG4関連疾患の進行と再発について	13
● 日常生活の注意点	14
● よくある質問	14
● IgG4関連疾患の治療に使える 医療・福祉の支援制度はありますか？	15
私の自己負担上限額は？	16
難病医療費助成制度利用の手続きは？	18

IgG4関連疾患とはどのような病気ですか？

IgG4関連疾患は、日本から発信された新しい疾患概念で、血液中のIgG4という抗体成分が増えることに加えて、このIgG4をつくる形質細胞が全身の臓器に広がることで、その臓器が腫れたり硬くなったりする病気です¹⁾。

IgG4とは何ですか？²⁾

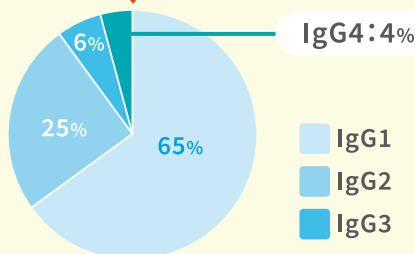
私たちの体には、侵入してきた病原体などの異物（抗原）を認識して、それを排除するために働く「抗体」という物質があります。抗体は免疫グロブリン（Ig）というタンパク質の一種で、形質細胞という細胞からつくられます。免疫グロブリンには、IgM、IgD、IgG、IgE、IgAという5つの種類があり、体の異なる部位で多様な機能を発揮しています。血液中の免疫グロブリンではIgGが最も多く含まれています。また、IgGはさらにIgG1からIgG4の4つの種類に分類されます。健康な人ではIgG4はIgGの中で4%と最も量が少ないタンパク質です。



抗体の5つの種類

IgM	IgD	IgG	IgE	IgA

IgGの種類と割合



2) より作成

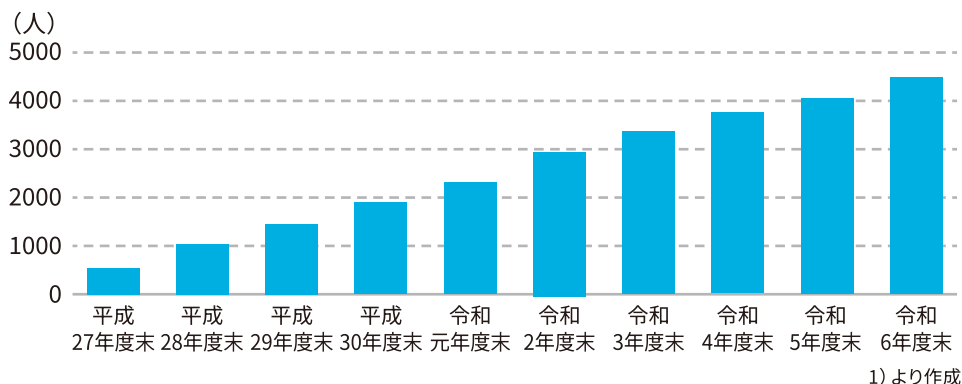
1) 難病情報センターホームページ（2026年7月現在）から引用 難病情報センター. <https://www.nanbyou.or.jp/>
2) Park JK, et al.: J Pers Med. 2022; 12 (6) : 855.

患者数はどのくらいですか？¹⁾

IgG4関連疾患全体の患者数は、2009年時点で約1～2万人と推定されていましたが、疾患が広く知られるようになったことや、診断能が向上したことから、現在ではさらに増えていることが予想されます。

重症例が主な対象となる特定医療費（指定難病）受給者証所持者数は令和6年度末で4,492人であり、こちらも年々増加しています。

● IgG4関連疾患 特定医療費（指定難病）受給者証所持者数の推移



どのような人に多くみられる病気ですか？¹⁾

中高年の男性に比較的多く認められますが、唾液腺や涙腺など、障害部位によっては男女差がないものもあります。

原因は何ですか？¹⁾

IgG4関連疾患の原因ははっきりわかっていません。しかし、これまでの研究の中で、自己抗体（自分の細胞に対する抗体）が存在する可能性があること、血中のIgG4の値が高い、侵された臓器にIgG4をつくる形質細胞が多数浸潤している、グルココルチコイド*が有効、喘息・アトピー性皮膚炎の合併率が高い、という特徴が示されていることから、現在のところIgG4関連疾患は「自己免疫性疾患」または「アレルギー性・炎症性疾患」と考えられています。

※2026年7月現在：IgG4関連疾患に対して本邦未承認

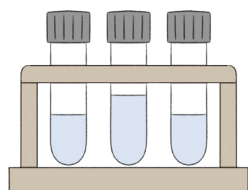
IgG4関連疾患とはどのような病気ですか？

どのような検査をして診断されるのですか？¹⁾

IgG4関連疾患の診断は、①血液検査、②画像検査、③病理組織学的検査を組み合わせで行います。複数の検査を組み合わせることで、悪性腫瘍や似ている別の病気との区別を行っていきます。

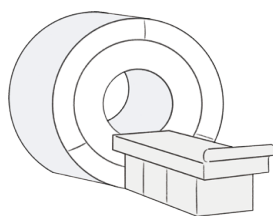
血液検査

血液検査では、IgG4の値が上昇しているかどうかを確認します。ただし、IgG4の値が上昇する病気はIgG4関連疾患だけではないため、IgG4の値が上昇するその他の病気で見られるような血液検査所見がないかも確認して慎重に判断します。



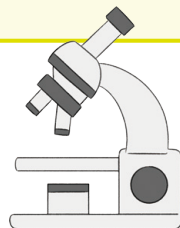
画像検査

画像検査では、CTやMRI、エコー検査、内視鏡検査などが行われます。これらの検査で、体全体にIgG4関連疾患の病変がないか確認します。また、病変の検出にはFDG-PET検査という検査法が用いられることもあります※。



病理組織学的検査

病理組織学的検査は、病変組織を細い針や手術で取り出し、顕微鏡で観察する検査です。病変がある臓器の組織を調べることで、悪性腫瘍や似ている別の病気との区別を行っていきます。



※FDG-PET検査は、2026年7月時点でIgG4関連疾患には保険適用外です。

1) IgG4関連疾患患者会. IgG4関連疾患について. <https://igg4.jp/pa/about/> (閲覧日: 2026年7月22日)

どのように診断されますか？¹⁾

IgG4関連疾患の診断は「包括診断基準」（下表）と各臓器の「臓器別診断基準」を組み合わせで行います。

● 2020改訂 IgG4関連疾患包括診断基準

項目1	臨床的及び画像的診断 1つまたは複数の臓器に腫れた部分がある（リンパ節のみに病変がある場合は除く）。
項目2	血清学的診断 高IgG4血症（血清IgG4値が135mg/dL以上）を認める。
項目3	病理学的診断 特徴的な細胞（IgG4陽性形質細胞）の増加を認めるなど、3つの病理学的診断条件のうち2つを満たす。

項目1＋項目2＋項目3を満たすもの：確定診断群（definite）

項目1＋項目3を満たすもの：準確診断群（probable）

項目1＋項目2を満たすもの：疑診群（possible）

注釈 臓器別診断基準の併用

本基準で、準確診断群（probable）、疑診群（possible）であっても、IgG4関連臓器別診断基準*で確定診断されたものは、IgG4関連疾患確定群（definite）と判断する。

*IgG4関連臓器別診断基準：

- ① 自己免疫性膵炎診断基準
- ② IgG4関連ミクリッツ病診断基準
- ③ IgG4関連腎臓病診断基準
- ④ IgG4関連硬化性胆管炎臨床診断基準
- ⑤ IgG4関連眼疾患診断基準
- ⑥ IgG4関連呼吸器疾患診断基準
- ⑦ IgG4関連大動脈周囲炎/動脈周囲炎および後腹膜線維症診断基準

IgG4関連疾患に含まれる病気と主な症状

IgG4関連疾患の病変が認められる部位は膵臓、涙腺・唾液腺、胆管、腎臓、膚、乳腺などさまざまで、ひとつだけでなく複数の部位に病変がみられること
するようなものがあります²⁾。

7 神経やホルモン分泌に関係する病気

- 下垂体 (IgG4関連下垂体炎)
- 硬膜 (IgG4関連肥厚性硬膜炎)
- 甲状腺 (IgG4関連甲状腺炎)

☑ **主な症状** 頭痛、視力・視野障害、体のだるさ、
月経不順・無月経、多尿 など

▶ 詳しくはp.12へ

4 心臓や血管、お腹の膜にあらわれる病気

- 大動脈＜動脈瘤＞・心臓＜狭心症・心筋梗塞＞
(IgG4関連大動脈周囲炎・動脈周囲炎)
- 後腹膜腔・尿管 (IgG4関連後腹膜線維症)

☑ **主な症状**
胸痛、腹痛、腰痛、尿閉 (尿が出ない)、微熱 など

▶ 詳しくはp.10へ

2 消化器 (膵臓、胆管) にあらわれる病気

- 膵臓 (1型自己免疫性膵炎)
- 胆管 (IgG4関連硬化性胆管炎)

☑ **主な症状** 腹痛、黄疸 (皮膚が黄色くなる) など

▶ 詳しくはp.9へ

1) 難病情報センターホームページ (2026年7月現在) から引用
難病情報センター. <https://www.nanbyou.or.jp/>

2) Yamamoto M, et al.: Nat Rev Rheumatol. 2014; 10 (3): 148-59.

3) 「オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準
並びに診療指針の確立を目指す研究」班. <https://igg4.jp/> (閲覧日: 2026年7月22日)

肺、後腹膜、動脈、中枢神経系、甲状腺、肝臓、消化管、前立腺、リンパ節、皮も少なくありません¹⁾。IgG4関連疾患と考えられている病気には、にお示し

1 首より上（涙腺、唾液腺、眼）にあらわれる病気

- 涙腺（IgG4関連涙腺炎）
- 唾液腺（IgG4関連唾液腺炎）
- 眼窩（がん か IgG4関連眼疾患）

✓ 主な症状

上まぶたの腫れ、ドライアイ、眼球の突出、複視（物が二重に見える）、口の渇き など

▶ 詳しくはp.9へ

5 呼吸器（肺や気管支）にあらわれる病気

- 肺・気管支（IgG4関連呼吸器疾患）

✓ 主な症状 ぜんそく 喘息様症状、せき・たん など

▶ 詳しくはp.11へ

3 腎臓や泌尿器にあらわれる病気

- 腎臓（IgG4関連腎臓病）
- 前立腺（IgG4関連前立腺炎）

✓ 主な症状 たんぱく 蛋白尿、むくみや体のだるさ、尿量の低下、夜間尿、頻尿 など

▶ 詳しくはp.10へ

6 リンパ節にあらわれる病気

- リンパ節（IgG4関連リンパ節炎）

✓ 主な症状

全身や局所（首など）のリンパ節における腫れ など

▶ 詳しくはp.11へ

1～3)より作成

（作図監修：学校法人 関西医科大学 関西医科大学香里病院 病院長 岡崎和一先生、金沢医科大学 血液免疫内科学 臨床教授 川野充弘先生）

IgG4関連疾患に含まれる病気と主な症状

1 首より上（涙腺、唾液腺、眼）にあらわれる病気^{1、2）}

首より上（涙腺、唾液腺、眼）にあらわれるIgG4関連疾患の代表的な病気には、IgG4関連涙腺・唾液腺炎とIgG4関連眼疾患があります。

● IgG4関連涙腺・唾液腺炎¹⁾

左右の涙腺や唾液腺、特に顎下腺がゆっくりと硬く腫れてくる病気です。まぶたが腫れぼったくなり、顔つきが変わったと周囲の方に指摘されることがあります。

● IgG4関連眼疾患²⁾

IgG4関連涙腺炎の症状以外に、顔面の知覚をつかさどる三叉神経や、眼球を動かす筋肉の腫れがみられる場合もあります。腫れの程度によっては複視（物が二重に見える）や視力の低下が起こる場合があります。



上まぶたの腫れ

☒ **主な症状** 上まぶたの腫れ、ドライアイ、眼球の突出、複視（物が二重に見える）、口の渇き、など

1) 「オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究」班. IgG4関連疾患 涙腺・唾液腺疾患. https://igg4.jp/igg4/lg_sg/（閲覧日：2026年7月22日）

2) 「オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究」班. IgG4関連疾患 眼疾患. <https://igg4.jp/igg4/ed/>（閲覧日：2026年7月22日）

2 消化器（膵臓、胆管）にあらわれる病気¹⁾

消化器にあらわれるIgG4関連疾患で代表的な病気には、1型自己免疫性膵炎とIgG4関連硬化性胆管炎があります。

● 1型自己免疫性膵炎

何らかの免疫異常により膵臓に炎症が起こり、膵臓が腫れてしまう病気です。黄疸（皮膚が黄色くなること）をきっかけに診断されることが多いという特徴があります。また、高齢発症の糖尿病で見つかる場合や健康診断の際に偶然見つかる場合もあります。

● IgG4関連硬化性胆管炎

何らかの免疫異常により胆管に炎症が起こり、胆管の壁が厚くなってしま病気です。胆汁の流れが悪くなり、黄疸や肝機能異常があらわれます。



腹痛

☒ **主な症状** 腹痛、黄疸（皮膚が黄色くなる）、など

1) 「オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究」班. IgG4関連疾患 消化器疾患. <https://igg4.jp/igg4/dd/>（閲覧日：2026年7月22日）

3 腎臓や泌尿器にあらわれる病気^{1, 2)}

腎臓や泌尿器にあらわれるIgG4関連疾患として代表的な病気には、IgG4関連腎臓病とIgG4関連前立腺炎があります。

●IgG4関連腎臓病^{1, 2)}

IgG4をつくる形質細胞が腎臓のさまざまな場所に塊を作り腎臓が腫れてしまう病気です。塊は腎臓全体にできたり、腎盂じんうという尿をためる袋にできたりすることもあります。また、膜性腎症を伴うとネフローゼ症候群になります。



体のだるさ

●IgG4関連前立腺炎²⁾

IgG4関連疾患の病変が前立腺にみられる病気で、腫瘤（体にできたできものやこぶ）として認識されることが多くあります。

☑ **主な症状** 無症状、あるいは、たんぱく蛋白尿、むくみや体のだるさ、尿量の低下、夜間尿、頻尿、など

1) 「オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究」班。IgG4関連疾患 腎臓病。 <https://igg4.jp/igg4/kd/>（閲覧日：2026年7月22日）

2) 岡崎和一、川茂幸 編。臨床医必読 最新IgG4関連疾患 改訂第2版。診断と治療社。2019。p.136

4 心臓や血管、お腹の膜にあらわれる病気¹⁾

血管の周りを取り囲むように硬い塊（腫瘤）ができたり、背中側のお腹の膜（後腹膜）に板状の塊ができたりする病気です。腎臓や尿管の近くに同様の病変があらわれることもあります。動脈が膨らんだり（動脈瘤）、動脈が裂けたり（動脈解離）してしまうと生命にかかわることもあるため、他の臓器にIgG4関連疾患がある場合は、血管全体を確認することが大切です。時に尿管という腎臓から膀胱に尿を運ぶ管が圧迫され、尿がせき止められる水腎症という病態を合併します。

☑ **主な症状**
胸痛、腹痛、腰痛、
尿閉（尿が出ない）、微熱、
足のむくみ、など



1) 「オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究」班。IgG4関連疾患 循環器疾患。 <https://igg4.jp/igg4/cd/>（閲覧日：2026年7月22日）

IgG4関連疾患に含まれる病気と主な症状

5 呼吸器（肺や気管支）にあらわれる病気¹⁾

IgG4関連疾患の病変が呼吸器に生じたものをIgG4関連呼吸器疾患といいます。涙腺・唾液腺炎や自己免疫性膵炎など他の臓器の病変を伴うことが多く、それらの病変の精密検査の過程で、呼吸器の病変も発見されるケースが多くあります。

✓ 主な症状

ぜんそく

喘息様症状、せき・たん、など



せき・たん

1)「オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究」班.
IgG4関連疾患 呼吸器疾患. <https://igg4.jp/igg4/rd/>（閲覧日：2026年7月22日）

6 リンパ節にあらわれる病気¹⁾

IgG4関連疾患では、しばしばリンパ節にも腫れが認められます。リンパ節単独のIgG4関連疾患は珍しく、多くは涙腺・唾液腺や膵臓などのIgG4関連疾患に併発する形であられます。

✓ 主な症状

全身や局所（首など）の
リンパ節における腫れ、など



首のリンパ節の
腫れ

1)「オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究」班.
IgG4関連疾患 リンパ節・病理. https://igg4.jp/igg4/ln_p/（閲覧日：2026年7月22日）

7 神経やホルモン分泌に関係する病気¹⁾

神経やホルモン分泌に関係するIgG4関連疾患として代表的な病気には、IgG4関連下垂体炎、IgG4関連肥厚性硬膜炎、IgG4関連甲状腺炎があります。

● IgG4関連下垂体炎

下垂体という脳の中の小さな臓器に、IgG4をつくる形質細胞が広がり腫れる病気です。下垂体の腫れおよび下垂体ホルモン分泌の低下に伴うさまざまな症状があらわれます。

● IgG4関連肥厚性硬膜炎

脳や脊髄を外傷や感染から守る役割を担っている硬い膜（硬膜）に、炎症が起こり、さまざまな症状があらわれます。

● IgG4関連甲状腺炎

のどぼとけの下にある蝶のような形をした甲状腺という臓器に、形質細胞が広がる病気です。甲状腺の腫れおよび甲状腺ホルモンの分泌低下に伴うさまざまな症状があらわれます。

✓ 主な症状

IgG4関連下垂体炎

頭痛、嘔気・嘔吐、視力・視野障害や体のだるさ、易疲労性、食欲不振、意識消失、低血圧、月経不順・無月経、多尿、口渇、など

IgG4関連肥厚性硬膜炎

激しい頭痛、難聴、視力障害、ふらつき、手足の麻痺、けいれん、など

IgG4関連甲状腺炎

頸部の腫脹、頸部痛、呼吸苦、嚥下障害や耐寒性の低下、徐脈、など



嘔気・嘔吐



耐寒性の低下

1) 「オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究」班.
IgG4関連疾患 内分泌・神経疾患. https://igg4.jp/igg4/e_nd/ (閲覧日: 2026年7月22日)

IgG4関連疾患の治療

- IgG4関連疾患の治療としては、グルココルチコイド※が第一選択薬となります。グルココルチコイドは比較的高用量で導入した後に、徐々に用量を減らしていき（漸減^{せんげん}といいます）、低用量の維持療法を行います¹⁾。
- 多くの患者さんでグルココルチコイドによる治療効果がみられますが、用量の漸減が難しい場合や、何らかの理由でグルココルチコイドの効が悪い患者さんでは、グルココルチコイドの増量や免疫抑制薬（体内の免疫反応を抑制する薬）※の併用などが行われることがあります^{1、2)}。
- 最近では生物学的製剤という注射薬もIgG4関連疾患の治療に用いられるようになりました。

※2026年7月現在：IgG4関連疾患に対して本邦未承認

IgG4関連疾患の進行と再発について¹⁾

- IgG4関連疾患の生命予後は比較的良好と考えられていますが、グルココルチコイドによる治療を中止すると約半数の患者さんで症状の再発・再燃が認められます。
- 現在のところ再発予防の方法は確立されていません。再発しやすい患者さんの特徴はまだわかりませんが、治療による血液中のIgG4の上がり方が悪かったり、同時に複数の臓器が冒されたりしている場合には再発しやすい可能性があります。

1) 難病情報センターホームページ（2026年7月現在）から引用 難病情報センター、<https://www.nanbyou.or.jp/>

2) 「オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究」班、IgG4関連疾患 IgG4関連疾患とは、<https://igg4.jp/igg4/>（閲覧日：2026年7月22日）

日常生活の注意点

感染症に注意

グルココルチコイドや、免疫抑制薬、生物学的製剤など免疫の働きを抑える治療を行っている患者さんでは、感染症に対する注意が必要です。



規則正しい生活を

他の自己免疫疾患同様にアルコールの多飲・喫煙・ストレス・睡眠不足を避けた「規則正しい生活」を送るように心掛けましょう。

グルココルチコイド治療中の食事

摂取カロリーに気を付けましょう。

よくある質問

Q. この病気は遺伝するのですか？

A. 免疫に関係する遺伝子が発症に関与する可能性はありますが、家族発症はほとんどないことから、遺伝する病気ではないと考えられています¹⁾。

Q. IgG4関連疾患では複数の臓器の疾患を併発している方が多いということでしたが、一般的にいくつくらいの疾患を併発しているのでしょうか？

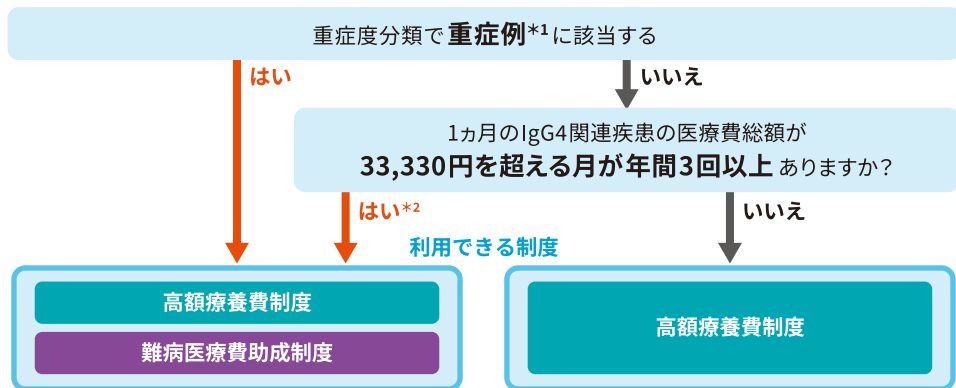
A. 1996年から2015年の間に診断された日本人IgG4関連疾患患者さん334名を対象とした調査によると、平均罹患臓器数は3.2、単一臓器のみの罹患患者数は11.4%という報告があります²⁾。

1) 難病情報センターホームページ(2026年7月現在) から引用 難病情報センター. <https://www.nanbyou.or.jp/>

2) Yamada K, et al. Arthritis Res Ther. 2017; 19(1): 262.

IgG4関連疾患の治療に使える医療・福祉の

IgG4関連疾患の患者さんが利用できる可能性のある代表的な制度として、「高額療養費制度」と「難病医療費助成制度」について、ご説明します。
IgG4関連疾患の患者さんでは、高額療養費制度と難病医療費助成制度の両方を利用できる方と、高額療養費制度のみ利用できる方がいます。



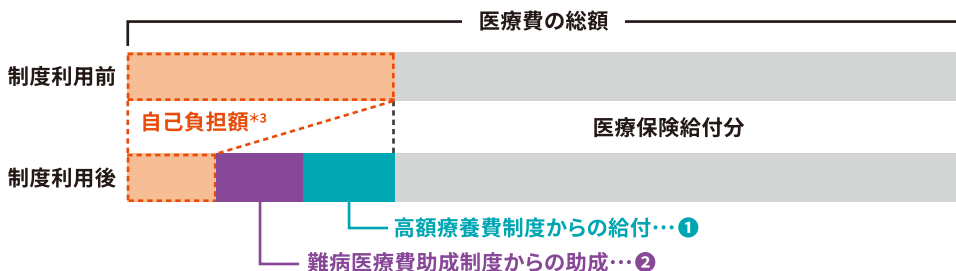
*1 ステロイド治療依存性あるいは抵抗例で、治療しても臓器障害が残る（ご自身の状態が該当するかは、主治医の先生にご確認ください）。

*2 1ヵ月（月の初めから終わりまで）のIgG4関連疾患の医療費総額が33,330円を超える月が年間3回以上ある場合は、軽症高額該当となり、難病医療費助成制度の対象となる可能性があります。

● 制度利用による自己負担軽減（イメージ図）

まず、高額療養費制度による給付が行われます（下の図の①）。

次にその残額に対して、難病医療費助成制度による助成が適用されます（下の図の②）。



*3 難病医療費助成制度の対象になると、医療費を3割自己負担している方は自己負担割合が2割になります。75歳以上の方など、申請前の自己負担割合が1割だった方は、申請後も自己負担割合は1割のままです。

支援制度はありますか？

私の自己負担上限額は？

● 高額療養費制度

70歳未満の方の上限額

適用区分		ひと月の上限額（世帯ごと）
ア	年収 約1,160万円～ 健保：標報83万円以上 国保：旧ただし書き所得901万円超	270,300円＋（医療費－901,000円）×1％
	年収 約770万円～約1,160万円 健保：標報53万～79万円 国保：旧ただし書き所得600万～901万円	179,100円＋（医療費－597,000円）×1％
ウ	年収 約370万円～約770万円 健保：標報28万～50万円 国保：旧ただし書き所得210万～600万円	85,800円＋（医療費－286,000円）×1％
エ	～年収 約370万円 健保：標報26万円以下 国保：旧ただし書き所得210万円以下	61,500円
オ	住民税非課税者	36,900円

注 1 つの医療機関等での自己負担（院外処方代を含みます。）では上限額を超えないときでも、同じ月の別の医療機関等での自己負担（70歳未満の場合は21,000円以上であることが必要です。）を合算することができます。この合算額が上限額を超えれば、高額療養費の給付対象となります。

70歳以上の方の上限額

適用区分		ひと月の上限額（世帯ごと）	
		外来（個人ごと）	
現役並み	年収 約1,160万円～ 標報83万円以上／課税所得690万円以上	270,300円＋（医療費－901,000円）×1％	
	年収 約770万円～約1,160万円 標報53万円以上／課税所得380万円以上	179,100円＋（医療費－597,000円）×1％	
	年収 約370万円～約770万円 標報28万円以上／課税所得145万円以上	85,800円＋（医療費－286,000円）×1％	
一般	年収 約156万円～約370万円 標報26万円以下／課税所得145万円未満等	22,000円 （年216,000円）	61,500円
非課税等 住民税	Ⅱ 住民税非課税世帯	11,000円 （年96,000円）	25,700円
	Ⅰ 住民税非課税世帯（年収入80万円以下など）	8,000円	15,700円

注 1 つの医療機関等での自己負担（院外処方代を含みます。）では上限額を超えないときでも、同じ月の別の医療機関等での自己負担を合算することができます。この合算額が上限額を超えれば、高額療養費の給付対象となります。

注 2 70～74歳の方の自己負担割合は2割、75歳以上の方の自己負担割合は1割です（75歳以上でも、課税所得が28万円以上かつ年収入＋その他の合計所得金額が200万円以上〔複数世帯の場合は320万円以上〕の方については2割負担となります）。また、現役並みの所得がある方については、いずれも3割負担となります。

厚生労働省保険局、高額療養費制度を利用される皆さまへ（平成30年8月診療分から）<https://www.mhlw.go.jp/content/000333280.pdf>（2026年7月現在）、
厚生労働省、高額療養費制度の見直しについて（令和8年8月診療分から）<https://www.mhlw.go.jp/content/001726232.pdf>（2026年7月現在）、
厚生労働省、後期高齢者医療の窓口負担割合の見直しについて（お知らせ）<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/000977090.pdf>
（2026年7月現在）より作成

IgG4関連疾患の治療に使える医療・福祉の支援制度はありますか？

● 難病医療費助成制度

階層区分	階層区分の基準 () 内の数字は、 夫婦2人世帯の場合における年収の目安		自己負担上限額 (患者負担割合：2割、外来＋入院)		
			原則		
			一般	高額かつ 長期※	人工呼吸器等 装着者
生活保護	—		0円	0円	0円
低所得Ⅰ	市町村民税 非課税(世帯)	本人年収 ～826,500円	2,500円	2,500円	1,000円
低所得Ⅱ		本人年収 826,500円超～	5,000円	5,000円	
一般所得Ⅰ	市町村民税 課税以上7.1万円未満 (約160万円～約370万円)		10,000円	5,000円	
一般所得Ⅱ	市町村民税 7.1万円以上 25.1万円未満 (約370万円～約810万円)		20,000円	10,000円	
上位所得	市町村民税 25.1万円以上 (約810万円～)		30,000円	20,000円	
入院時の食費			全額自己負担		

※「高額かつ長期」とは、指定難病にかかる月ごとの医療費総額が50,000円を超える月が年間6回以上ある方（例えば医療保険の2割負担の場合、医療費の自己負担が10,000円を超える月が年間6回以上）が対象です。

支払う金額が 自己負担上限額より	低い場合	▶ 医療費の総額の2割分(1割負担の方は1割)
	高い場合	▶ 自己負担上限額

難病医療費助成制度利用の手続きは？

1 申請に必要な書類を準備します(下の図の①)

必要な書類はお住まいの都道府県・指定都市によって異なりますので、お住まいの都道府県・指定都市のホームページや窓口などから入手してください。

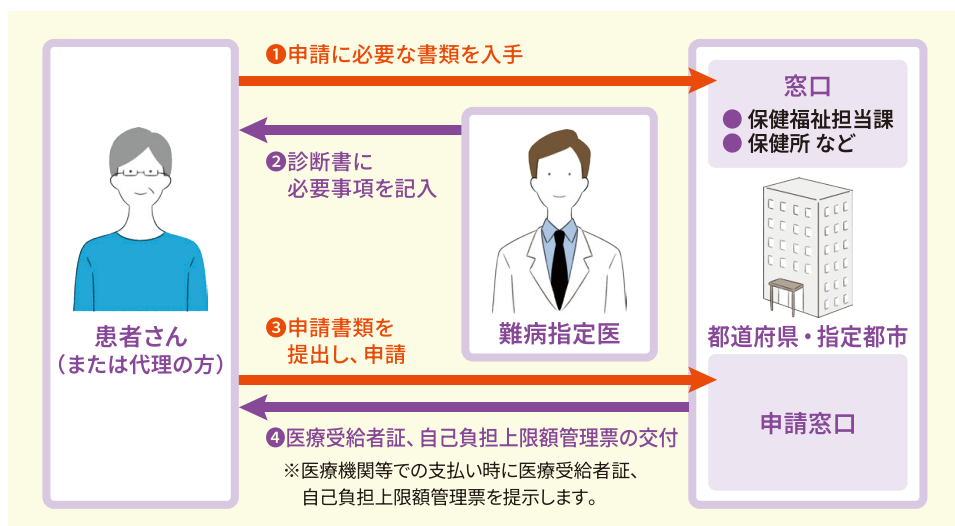
2 難病指定医に、診断書(臨床調査個人票)を記入してもらいます(下の図の②)

臨床調査個人票は、都道府県・指定都市から認定された難病指定医に記入してもらいます。なお、臨床調査個人票の作成には文書料金が発生します。詳しいことは難病指定医療機関にお問い合わせください。

難病指定医や難病指定医療機関の情報は、難病情報センターのホームページ(<https://www.nanbyou.or.jp/>)や各都道府県のホームページでご確認ください。

3 都道府県・指定都市の申請窓口に必要な書類を提出します(下の図の③)

申請窓口は、都道府県・指定都市により異なりますので、お住まいの都道府県・指定都市にお問い合わせください。



医療受給者証*、自己負担上限額管理票の交付申請から交付まで約3ヵ月かかりますが、その間にかかった医療費は払い戻しを請求することができます。

* 医療受給者証の有効期間は、原則1年以内で都道府県・指定都市が定める期間です。有効期間を過ぎて治療継続が必要な場合は更新の申請が必要です。

● 関連リンク

- ▶ 難病情報センター
<https://www.nanbyou.or.jp/>
- ▶ オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに
診療指針の確立を目指す研究
<https://igg4.jp/>
- ▶ IgG4関連疾患患者会
<https://igg4.jp/pa/>
- ▶ 日本IgG4関連疾患学会
<https://igg4.w3.kanazawa-u.ac.jp>
- ▶ 日本シェーグレン病学会
<http://sjogren.jp>